

洗車片上げリフト

シーガルリフト

取扱説明書

BWL20

BWL20P

ご愛用者の皆様へ

このたびはビシャモンのシーガルリフト BWL20(P)をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用になる前に必ずこの説明書をお読みいただき、十分に納得された上でご使用ください。なお、この説明書は大切に保管していただき、万一紛失された場合は速やかにご請求ください。取扱説明書が現品と異なる場合は、お買い上げいただいた販売会社までご請求ください。

保守点検管理のお願い

リフトによる安全な作業を行うために、また、リフトの十分なる機能を維持するために、定期的な保守点検の実施をお願い致します。

まえがき


このたびはビシャモンのシーガルリフト BWL20(P)をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用になる前に必ずこの説明書を熟読いただき、十分に納得された上でご使用ください。


説明書の中の注意事項および使用方法等をよく読んでご使用いただかないと、十分な能力を発揮できないばかりか車の落下や人身事故につながることでありかねませんので、十分熟知していただき、正しくご使用ください。改良のため、この取扱説明書の内容とお買い上げいただいた製品の仕様とが異なる場合があります。製品や取扱説明書について質問がある場合は、お買い上げいただいた販売会社まで遠慮なくお問い合わせください。


なお、この取扱説明書は大切に保管していただき、万一紛失された場合は速やかに請求してください。また、製品に貼り付けてある警告シール等がはがれた場合には、販売会社にてお求めください。

用語および記号の説明

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止のため重要な事柄が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用ください。

 **危険** 取り扱いを誤った場合に使用者等が死亡、または重傷を負う危険性が切迫して生じることが想定される場合。

 **警告** 取り扱いを誤った場合に使用者等が死亡、または重傷を負う可能性が想定される場合。

 **注意** 取り扱いを誤った場合に使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的な損害の発生が想定される場合。

目 次

目 次.....	2
1 使用目的.....	3
2 危険・警告・注意事項.....	3
2-1 一般的な安全遵守事項.....	3
2-2 使用上の注意.....	3
3 警告シール等の種類と貼付位置.....	6
4 機械の構成と各部の名称.....	6
5 装置の機能および使い方.....	8
6 作動原理.....	9
7 安全装置.....	9
8 始業点検.....	9
9 使用方法.....	10
9-1 車の乗り入れ方法.....	10
9-2 上昇操作.....	10
9-3 下降操作.....	11
9-4 車の退出.....	11
10 作業終了後の清掃.....	11
11 保守点検.....	12
11-1 給油箇所.....	12
11-2 作動油.....	13
12 故障と対策.....	13
13 仕 様.....	14
14 エアー・油圧回路図.....	16
15 設置（据付）および移設について.....	16
16 廃棄について.....	16
17 商品保証規定.....	17
18 アフターサービスについて.....	18

1 使用目的

本製品は、洗車対応の片上げリフトです。軸重 2,000kg までの軽～トラックの洗車、オイル交換、下回り点検等を行うリフトです。

2 危険・警告・注意事項

本製品をご使用いただく上での人身事故や自動車の損傷を防止するための重要な事柄が記載されていますので、必ずよく読み、よく理解してから使用してください。

2-1 一般的な安全遵守事項

1. 取扱説明書をよく読み、よく理解してから使用してください。
2. このリフトは、使用方法を熟知した人以外は使用しないでください。
3. 始業点検および保守点検は、取扱説明書の本文に従って必ず実施してください。
4. 運転時に異音発生等、普段と異なる状態のときはリフトの使用を禁止し、お買い上げいただいた販売会社に連絡して点検を受けてください。
5. このリフトを自動車整備以外の目的に使用しないでください。
6. 警告シールを取り外したり、改変したりしないでください。

2-2 使用上の注意

絵表示の背後に描かれている図記号は次のような意味があります。




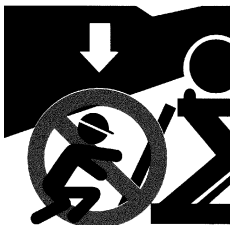
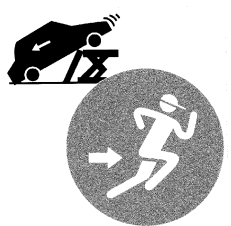
してはいけない
特定の行為



しなくてはならない
特定の行為



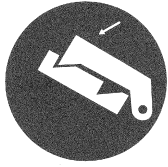
取り扱いの誤りによって発生
する可能性のある警告注意

 危険	
	操作中は、絶対に車の下方に立ち入らないこと。 ※死亡または重傷の危険があります。
	車が落下しそうな時は支えないで逃げること。 ※車の下敷きになり死亡または重傷の危険があります。

⚠ 警告

	<p>操作は、操作方法を熟知した人以外は、使用禁止。 * 誤った操作方法が原因で思わぬ事故が発生します。</p>
	<p>下降時にはドライブオンの下に足を入れないこと。 * はさまれて大ケガをします。</p>
	<p>安全装置の改造は絶対禁止 * 万一の時に、安全装置が作動しないで、重大な被害が発生します。</p>
	<p>車はリフトの中心に載せること（左右方向） * タイヤがドライブオンから外れて、車が落下する危険があります。</p>
	<p>両方の車輪をタイヤストッパーまで乗り入れること。 * タイヤがドライブオンから外れて、車が落下する危険があります。</p>
	<p>ドライブオンの高さが500mm以下では、降下止めツメがかかりませんので500mm以下の高さにしたままリフトを放置しないでください。</p>
	<p>ドライブオンに対して車が直角になるように進入してください。</p>
	<p>輪止めをリフト上昇後、必ずセットしてください。 * 車が移動し、ドライブオンから外れて落下する危険があります。</p>
	<p>サイドブレーキを必ずかけること * 車が移動しドライブオンから外れて落下するおそれがあります。</p>
	<p>取扱説明書をよく読み、よく理解してから使用すること。 * 重要警告事項の説明あり。警告事項に従わないと、重大事故につながります。</p>

⚠ 警告



作業中、降下止めツメは「入」の状態で使用すること。
※油漏れによる自然降下あり。

⚠ 注意

取扱説明書をよく読んで理解してからご使用ください。

<準備>

- 本機は洗車対応の片上げリフトです。片上げの洗車、整備以外の目的には使用しないでください。
- 最大能力以上の車を上げないで下さい。最大能力は2000kgです。
- 降下止めツメが正常に作動しない場合にはリフトを使用しないでください。
- 車の進入退出はゆっくり行い、急停止急発進しないでください。
- 車を乗り入れた後はエンジンを止めてください。
- 車から降りる際は、周囲が濡れている場合がありますので滑らないように足元に注意してください。

<上昇／下降操作>

- リフトの昇降操作中は車の状態に注意し、わき見をしながらの操作は絶対にしないでください。
- 荷物や人を乗せたまま車を上昇させないでください。
- 車の昇降時にはリフトに近づいたり、リフトに触れたりしないでください。
- 下降させる時には車やリフト周辺に人や物が無いことを確認してから下降させてください。
- リフト本体の可動部に工具や部品を放置したまま操作しないでください。リフトの故障や車の転落につながります。
- リフトが最高位に達した場合にはすぐに上昇操作を中止してください。
- リフトを下降させる前に、乗込台のローラー部付近に泥、砂、石がないか確認してください。そのまま下降させますと乗込台が引っ掛かり、リフトが破損するおそれがあります。
- 乗用車のフロント侵入の場合にはフロント側の泥よけがドライブオンと接触する場合がありますので、よく注意して上昇させて接触する前に停止させてください。

<作業中>

- 作業前に降下止めツメが左右リフト共に「入」の状態になっていることを確認してから作業を行ってください。また、降下止めツメが「入」の状態で行い、シリンダー内の油圧が抜けた状態での使用はやめてください。
- 作業員以外は、リフトの付近に立ち入らせないでください。
- リフトから離れる時や使用しない時は、必ずリフトを最低位まで下降させてください。

<その他>

- リフトの改造はしないでください。性能が発揮できず、重大な事故につながるおそれがあります。
- 使用中や点検中に異常を発見した場合は直ちにリフトの使用をやめ、異常部分の修理を依頼してください。修理が終わるまではリフトを絶対使用しないでください。

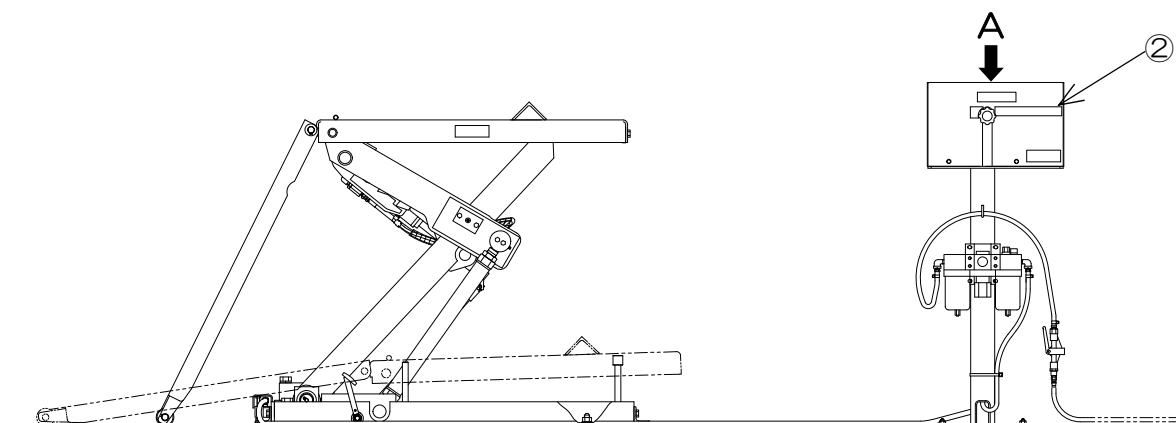
<移動用車輪の注意事項>

- 移動用車輪を収納する時には、ベースで足を挟まないように注意してください。
- 平坦な場所で使用してください。
- 本体のずれ止めピンは必ず使用してください。

3 警告シール等の種類と貼付位置

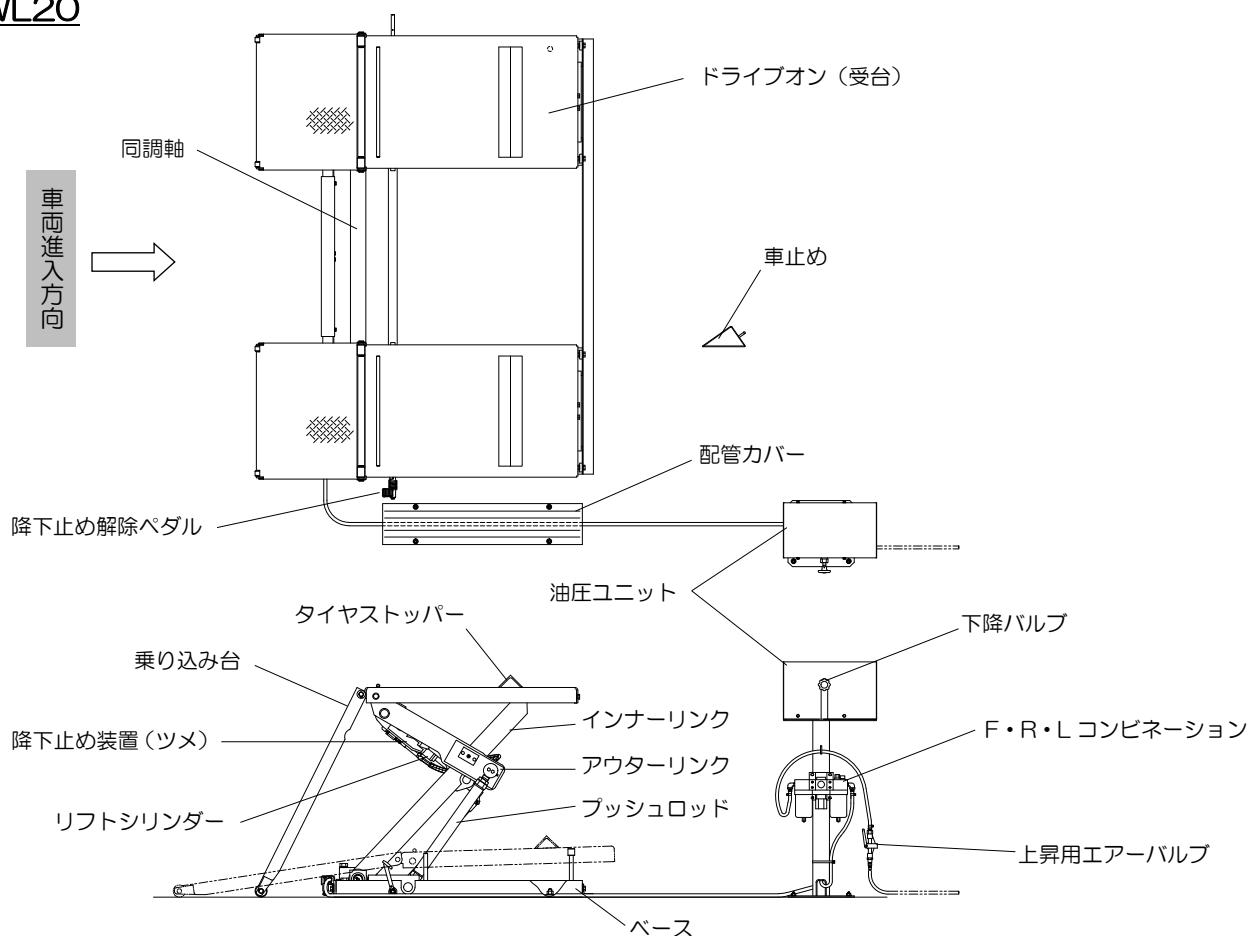
- ① 危険・警告・注意シール（内容をよく読んでご使用ください）
- ② 能力シール（最大能力を示します。荷重は能力以内としてください）

Cap.2,000kg (4,400lbs)

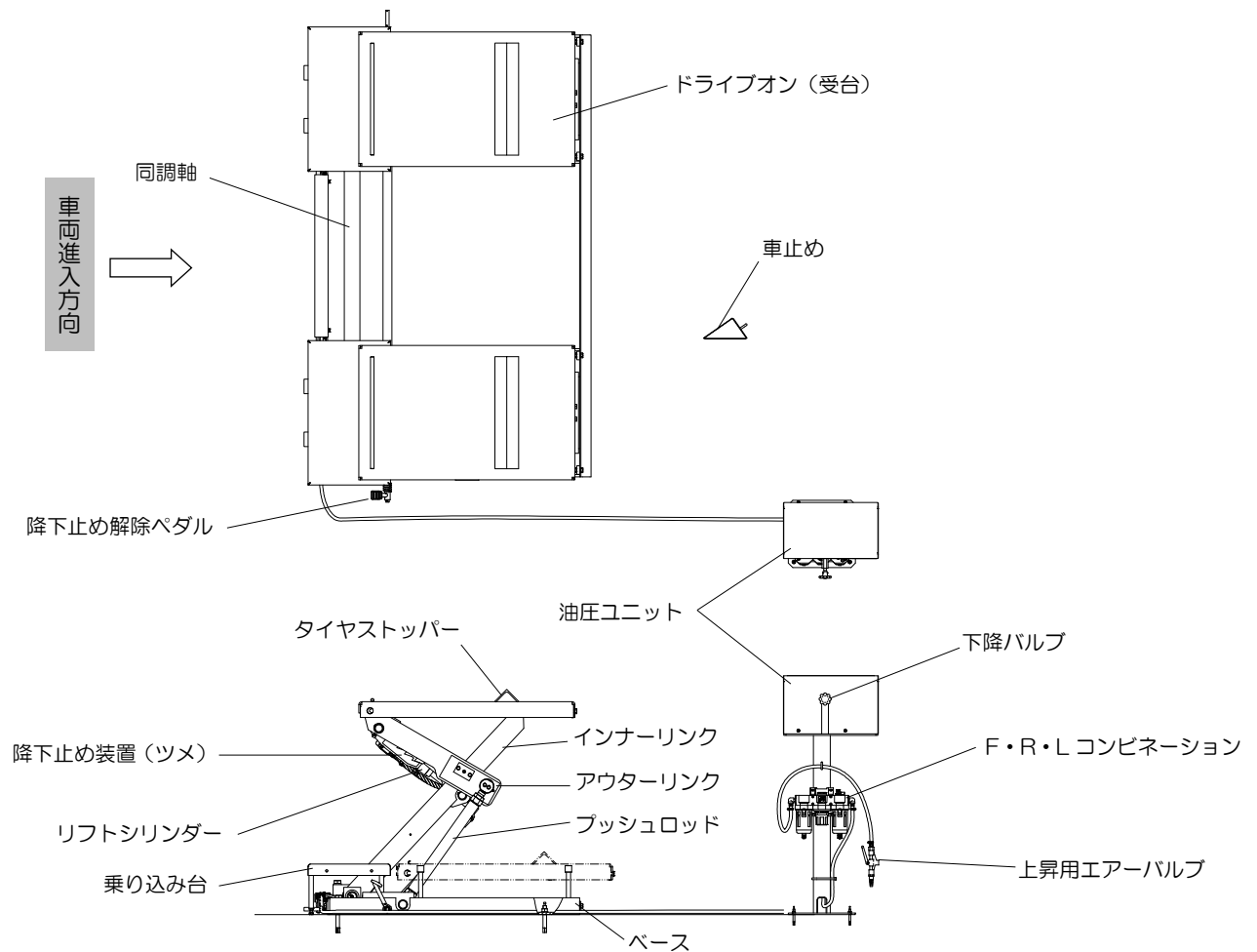


4 機械の構成と各部の名称

BWL20



BWL20P



<BWL20/BWL20P 共通内容>

- ※上昇用エアバルブ ポンプにエアを供給し、リフトを上昇させます。
- ※下降バルブ 左に回すとリフトが下降します。上昇時には右に回して閉じておきます。
- ※降下止めツメ解除ペダル 踏み込むと降下止め装置のツメが解除され保持されます。
- ※F・R・L コンビネーション P8 参照

5 装置の機能および使い方

<F・R・Lコンビネーション>

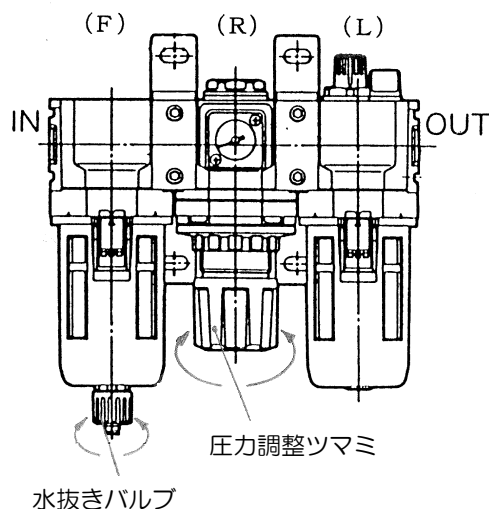
● エアークリナー (F)

コンプレッサーから送られたエアのゴミや水分を除去します。

除去された水分はエアークリナーカップ内に溜まりますので、定期的な水抜き作業が必要になります。

<水抜き方法>

水抜きバルブを左に回すと、エアと一緒に水が噴き出てきます。水が出てこなくなったら、エアが漏れない程度に締めてください。側面の窓より内部を見ることができます。容量は80cm³です。



● エアレギュレーター (R)

コンプレッサーから送られてくるエアを減圧します。エア圧は 0.7~1.0MPa となるよう設定してください。

<設定方法>

- ① 供給されているエア圧力が0.7MPa 以上あることを確認してください。
- ② エア圧力計の針を見ながら圧力調整ツマミを引き、0.7~1.0MPa に合わせてください。
右回転→圧力増える
左回転→圧力減る
- ③ 調整が終わりましたら圧力調整ツマミを上に戻してください。

● オイルブリークーター (L)

エア回路内に作動油を送り、各装置の錆を防ぎ性能を維持します。

リフト上昇操作 1 回につき 1 滴落ちるように調整してください。

⚠ 注意

- * エアークリナーの水抜き作業は毎日必ず行ってください。
水が溜まると故障の原因になります。
- * F・R・L コンビネーションには 1.0MPa 以上の圧力のエアを供給しないでください。
F・R・L コンビネーションが破損するおそれがあります。
- * F・R・L コンビネーションの設定圧は 0.7~1.0MPa としてください。
設定圧以下および以上の場合、リフトの作動不良や破損の原因となるおそれがあります。

6 作動原理

本製品はエア圧を駆動源にしてリフトシリンダーを上昇させます。

■上昇

上昇用エアバルブにてエアを供給するとエアポンプが働き、作動油をリフトシリンダーに送り、ドライブオンが上昇します。

■下降

下降バルブを開くとリフトシリンダーの油がタンクに戻され、ドライブオンが下降します。

7 安全装置

本製品には、以下の安全装置があります。

<降下止め装置>

シリンダーに取り付けてあり、自然降下や誤作動によるリフトの降下を防ぎます。

*** 降下止め装置は、床面より 500mm 以上上昇しないと作動しません。**

<リリースバルブ>

オーバー荷重や最上昇位置で油圧が異常に上昇した場合に油圧を逃がし、リフトの破損を防ぎます。

<ヒューズバルブ>

高圧ホース等の破損によるシリンダーからの作動油の流出を遮断し、リフトの降下を止めます。

8 始業点検

毎日作業前に必ず始業点検を行ってください。なお、点検は車を載せないで行ってください。

⚠ 注意

*** 異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでリフトの使用を禁止して直ちに販売会社に連絡してください。そのままお使いになるとリフトの破損および重大な事故につながります。**

油圧回路	油漏れはないか。
泥・砂・排水	ドライブオン・乗り込み台・ベース部・乗り込み台ローラー走行部に泥・砂はないか。排水状態はよいか。
降下止め装置のツメ	上昇時に“カタンカタン”という音と共にツメがラックに入るか。また、正常に解除できるか。
リンク	変形・錆による膨らみはないか。
ボルト類	各ボルト・ナット類、アンカーボルト等に弛みはないか。
エア圧力	エア圧は 0.7MPa 以上あるか。水・ゴミはないか。

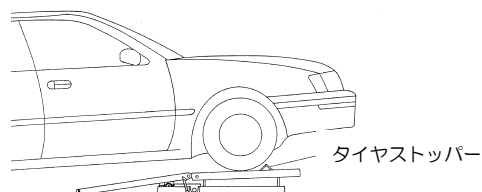
9 使用方法

9-1 車の乗り入れ方法

⚠ 警告

- * サイドブレーキを必ずかけること。
サイドブレーキをかけないと車が移動し、落下するおそれがあります。
- * 車はリフトの中心に載せること。
リフトの中心に載せないと、タイヤがドライブオンから外れて車が落下するおそれがあります。

- ① リフトを最下降位置まで下降させ、リフト中心に向かってゆっくり車を乗り入れてください。
- ② 車輪がタイヤストッパーに当たるか、その直前にあることを確認してください。
- ③ エンジンを止め、サイドブレーキを必ずかけてください。

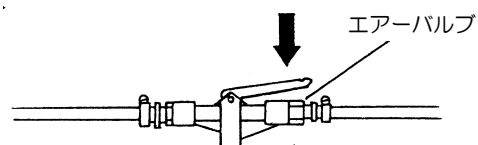


9-2 上昇操作

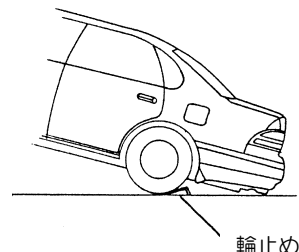
⚠ 警告

- * リフト上昇後、輪止めを必ずセットすること。
車が移動し、ドライブオンから外れて落下するおそれがあります。

- ① 車を進入後、再度ドライブオン上のタイヤ位置がタイヤストッパー位置にあることを確認してください。
- ② 上昇用エアバルブのレバーを押さえてエアーを供給すると、リフト(ドライブオン)が上昇します。



- ③ 上昇中は、泥よけ・マフラー・バンパーなどの各部がドライブオンや床面に当たることがありますので、各部に常時気を配ってください。当たる直前に停止させてください。
- ④ 上昇後、地面に接しているタイヤに輪止めをしてください。
- ⑤ 降下止め装置のツメが「入」になっていることを確認してから作業を行ってください。



⚠ 注意

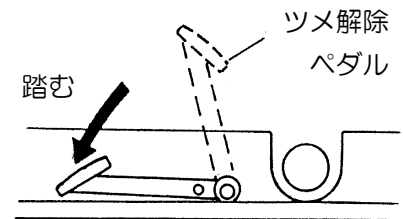
- * 降下止め装置が作動する高さまでリフトを上昇させてから作業してください。
降下止め装置が働かず、リフトが傾いたり車が転落する危険性があります。
- * 降下止め装置は、床面より 500mm 以上上昇しないと作動しませんので注意してください。

9-3 下降操作

⚠ 警告

* 下降時にはドライブオンの下に足などを入れないこと。
はさまれてケガをします。

- ① 乗り込みローラー部付近に泥・砂・石などがいないか確認してください。
あれば除去してください。
- ② ツメ解除ペダルを踏み、降下止め装置のツメを確実に解除してください。
- ③ 輪止めを取り外してください。
- ④ リフトの周囲に気を付けてゆっくり下降させてください。



9-4 車の退出

タイヤをドライブオンより脱輪させないようにゆっくり退出してください。

10 作業終了後の清掃

作業が終了したら、受台やリフトエリア内に付着したオイルやグリスなどをきれいに拭き取ってください。またリフト各部を十分にエアブローして水や泥などを除去してください。

リフト周辺の水分や泥も除去してください。このとき何か異常が発見された場合、直ちに販売会社にご相談ください。また安全のためリフトを最下降位置まで下げてエアホースの接続を外しておいてください。またコンプレッサーのドレン排出をして、リフトへの供給エアを乾燥した清浄なものとするようにしてください。

⚠ 注意

* 汚れが付着したままリフトを昇降させると、シリンダー内への異物混入や作動不良などの故障につながります。使用後は必ず汚れを落としてください。

1 1 保守点検

安全にご使用いただくために毎日の始業点検に加え、必ず月に一度保守点検を実施してください。
 なお、点検は車を載せないで行ってください。

⚠ 警告

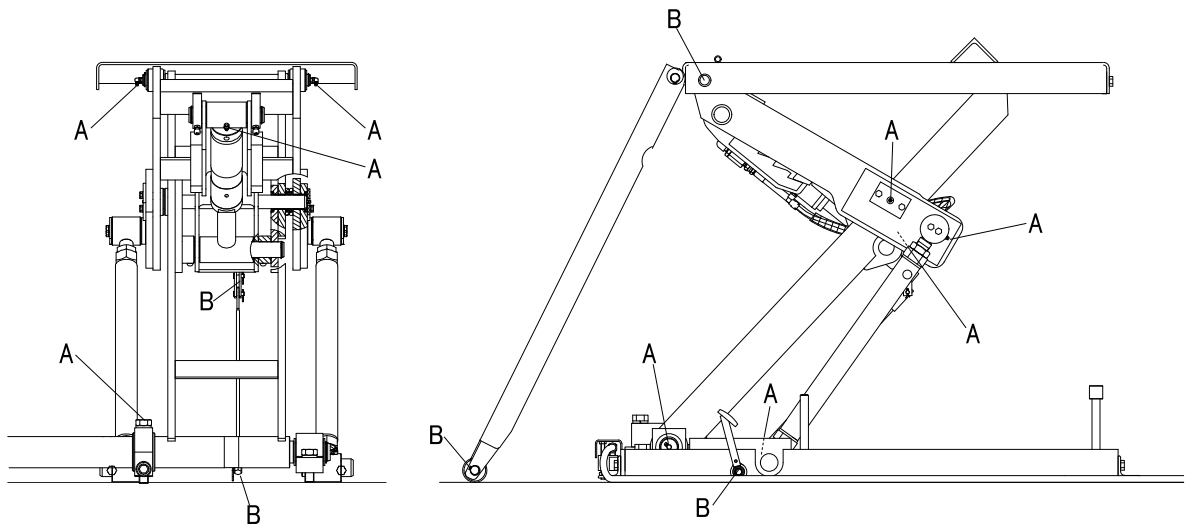
* 異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまでリフトの使用を禁止して直ちに販売会社に連絡してください。そのままお使いになるとリフトの破損および重大な事故につながります。

点検箇所	点検項目	点検要領
給油箇所 降下止め装置のツメ	給油の実施 降下止め装置のツメの作動	指示箇所に給油 作動は正常か
各部 各ローラー部	錆の状態 回転 摩耗	錆は発生していないか 回転は正常か 摩耗は無いか
作動油 各ボルト	交換 弛み・外れ	全量交換 増し締め

1 1-1 給油箇所

下記指示部分にグリスアップを行ってください。

A : グリスニップルにグリス注入
 B : グリスアップ



⚠ 注意

<グリスニップルについて>

グリスガンではグリスが入らない場合があります。
 エアーもしくは電動のグリス用ルブリケーターをお使いください。

安全にご使用していただくために

保守点検に加え、年に一度専門業者による定期点検を実施してください。
 定期点検の実施についてはお買上げいただいた販売会社へご依頼ください。

1 1-2 作動油

本機はエアポンプを使用しており、その性能は使用作動油によって大きく影響しますので、作動油を補充する場合には必ず下記作動油の種類をご確認ください。

また、作動油は定期交換が必要です。設置後1年にて、その後は3年毎に交換を実施してください。

●作動油の種類

粘度区分 耐摩耗性油圧作動油 ISO VG10 相当 使用量 3L

1 2 故障と対策

故障と思われた場合は、以下の事柄を確認して理解できる事柄だけを行ってください。

理解できないことや、手がけることのできないことは販売会社にお問い合わせください。

注意

* 各部の処置をする時はエア源を止め、車を載せない状態で行ってください。

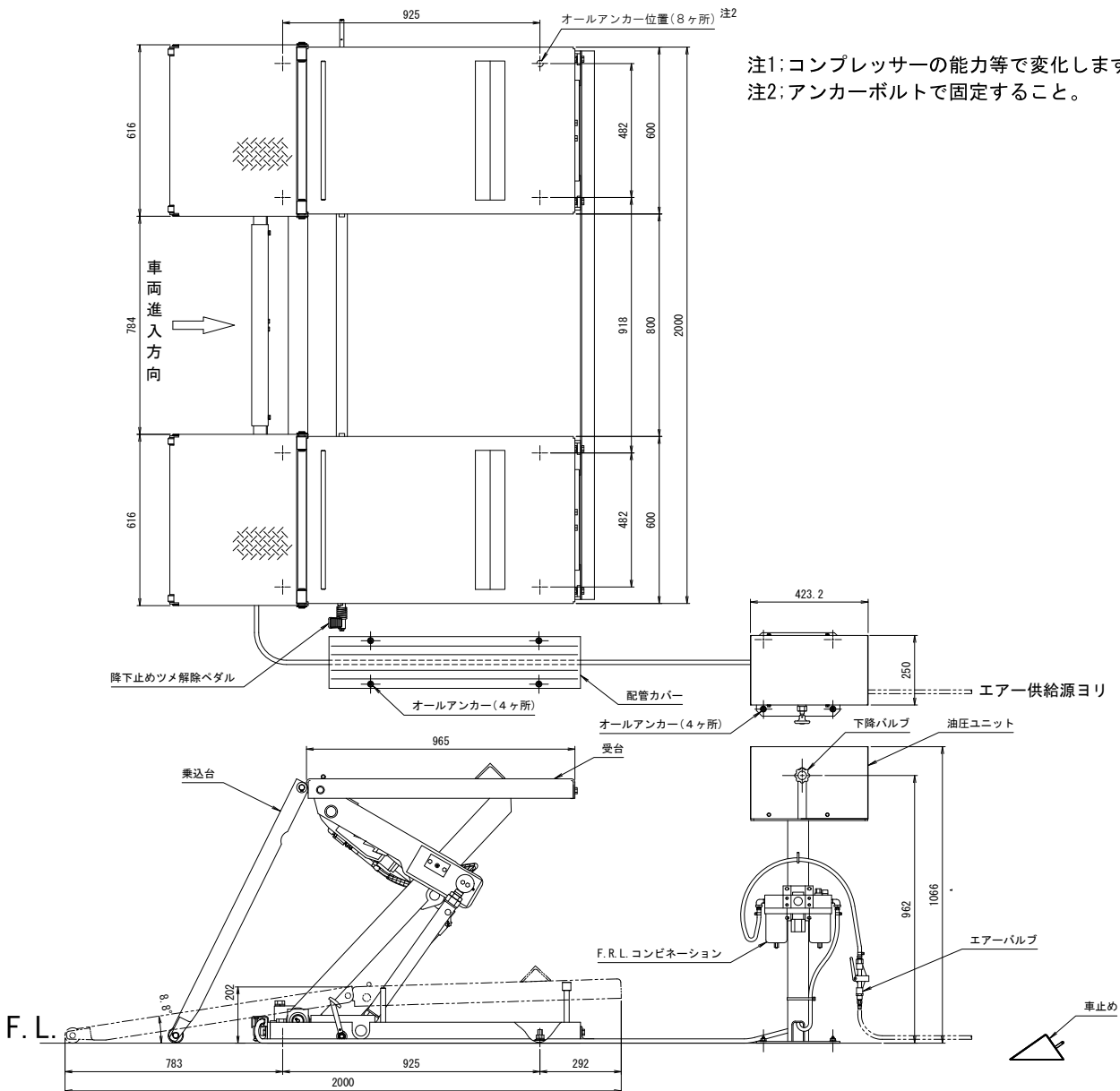
症状	原因	処置
上昇しない	(排気音がしない) ・エアーの供給がない (排気音がする) ・下降バルブが締まっていない ・作動油がない	・コンプレッサーの確認 ・エアーバルブのチェック ・下降バルブを締める ・作動油の補充
上昇速度が遅い	・エアー圧の不足 ・オイルバルブの不良	・エアー圧の確認、調整 ・オイルバルブの調整
自然降下	・ポンプシリンダーの弛み ・シリンダーパッキンの摩耗 ・リリーフバルブの漏れ ・下降バルブの漏れ ・ホース、配管からの漏れ	・ポンプシリンダーの増し締め ・パッキン交換 ・リリーフバルブの調整 ・下降バルブの調整 ・漏れ箇所の修復

13 仕様

本仕様は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
 ※改造品の場合は仕様異なる場合がありますので、別紙改造仕様図をご参照ください。

BWL20

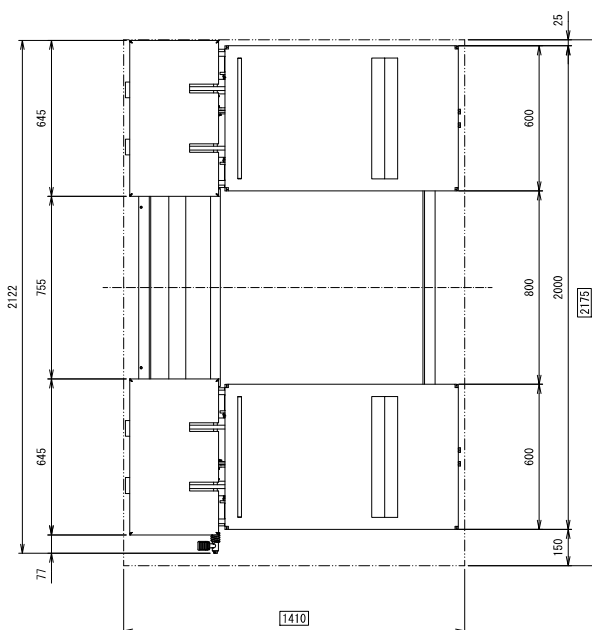
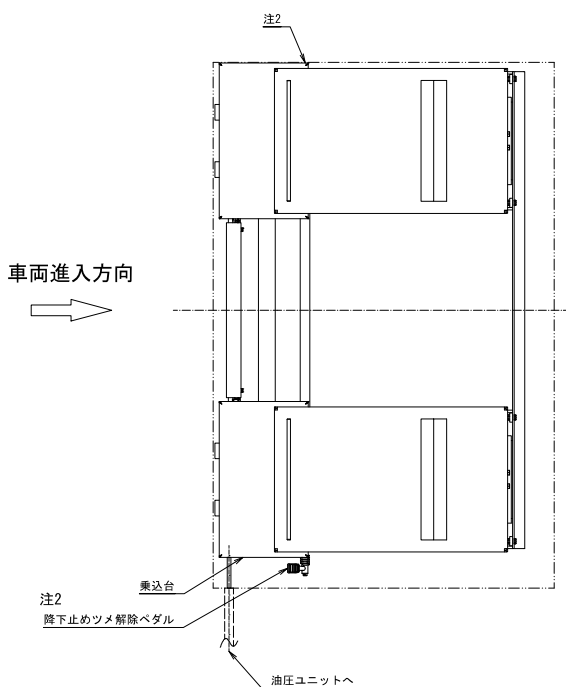
仕 様	
型 式	BWL20
能 力 注1	2000kg
揚 程	719mm
リフト最高高さ	950mm
リフト最低高さ	231mm
上昇時間 注1	全負荷時 約120秒 (17-圧1.0MPa) 無負荷時 約60秒 (17-圧1.0MPa)
操作方式	手動式バルブ
エア圧	0.7-1.0MPa
使用空気量	1000NL
油圧ユニット	別置式
コンプレッサ所要動力	3.7kW以上 (推奨)
自 重	580kg (リフト本体) 45kg (油圧ユニット)
オ イ ル	ISO規格 VG10・油圧動作油
総 油 量	3L



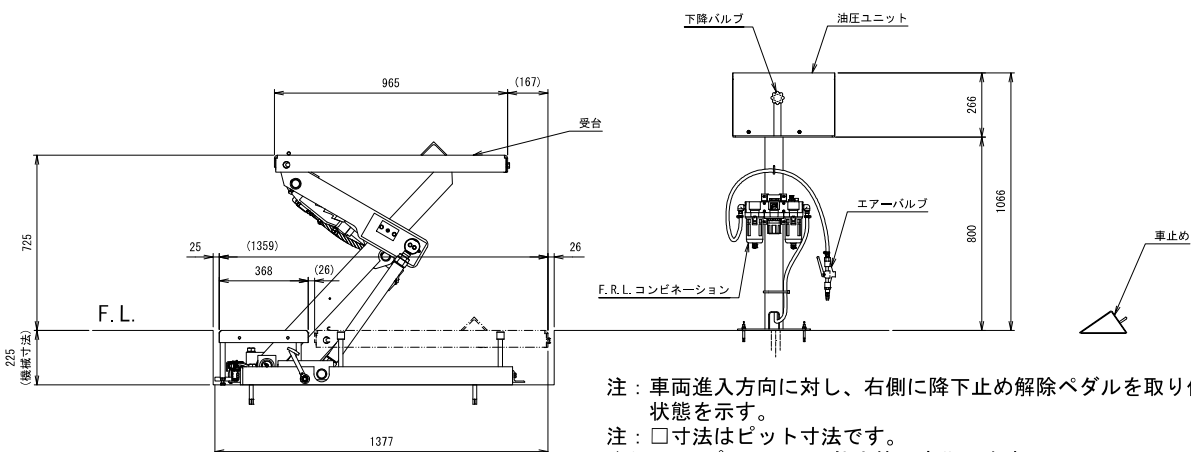
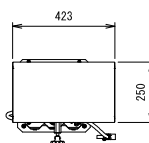
注1:コンプレッサの能力等で変化します。
 注2:アンカーボルトで固定すること。

BWL20P

仕 様	
型 式	BWL20P
能 力 注1	2000kg
揚 程	725mm
上昇時間 注1	全負荷時 約120秒(エア圧1.0MPa) 無負荷時 約60秒(エア圧1.0MPa)
操作方法	手動式バルブ
エア圧	0.7-1.0MPa
使用空気量	1000NL
油圧ユニット	別置式
コンプレッサ所要動力	3.7kW以上(推奨)
自 重	580kg(リフト本体) 45kg(油圧ユニット)
オ イ ル	ISO規格 VG10・油圧動作油
総 油 量	3L



下限状態説明図



注：車両進入方向に対し、右側に降下止め解除ペダルを取り付けた場合の状態を示す。

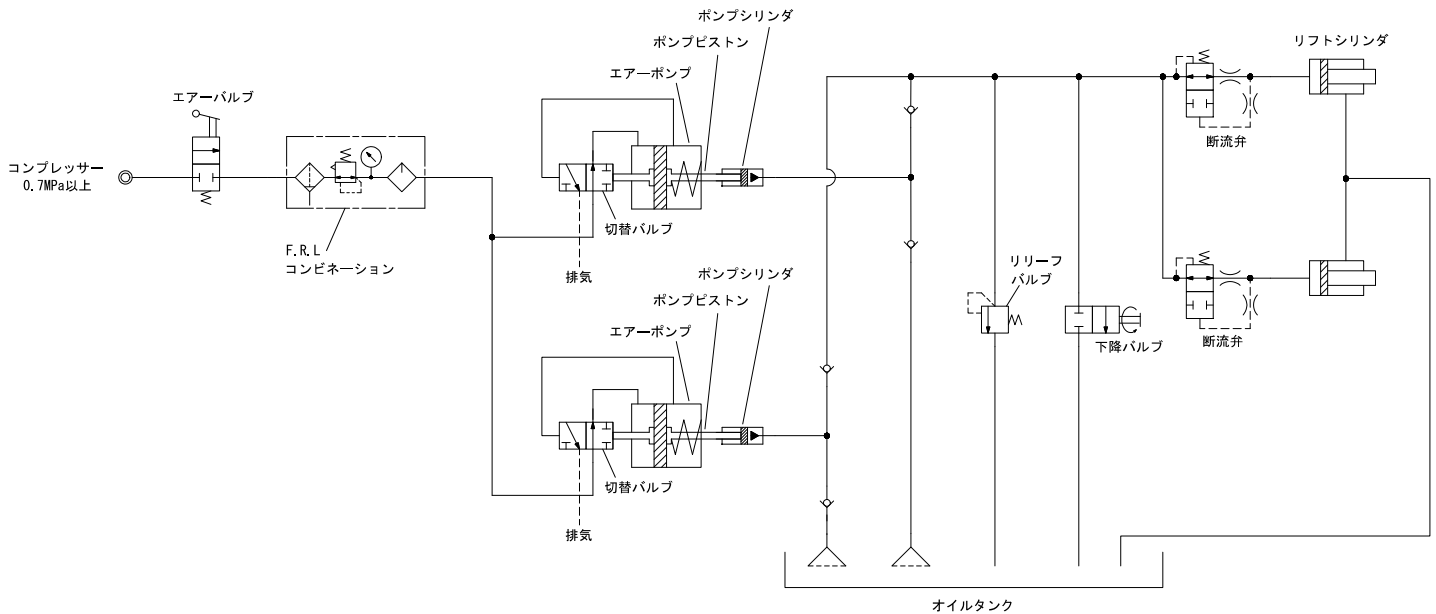
注：□寸法はピット寸法です。

注1：コンプレッサの能力等で変化します。

注2：使用しない降下止めツメ解除ペダル用の軸は、切断して下さい。

14 エアー・油圧回路図

※改造の場合は回路図が異なることがありますので、別紙配線図をご参照ください。



15 設置（据付）および移設について

本製品の設置（据付）および移設は、お買い上げいただいた販売会社へ依頼してください。
移設の場合は販売会社による点検を実施してください。

16 廃棄について

本製品を廃棄するときは、鉄鋼材・非鉄材・樹脂材・作動油等に分別し産業廃棄物として処理してください。特に作動油の処理方法は、法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理してください。
ご不明な場合は販売会社へ相談の上処理してください。

17 商品保証規定

無償修理規定

取扱説明書、本体注意シール等の注意書きに従って正常な使用状態で保証期間内（納入後 1 年以内）に故障した場合は、弊社の責任において無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をいたします。ただし、二次的に発生する損失の保証および、次の場合に該当する故障は保証いたしておりません。

- (1) 使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
- (2) 商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障および損傷。
- (3) 消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- (4) 火災、地震、風水害、その他天災地変等、外部に要因がある故障および損傷。
- (5) 指定された純正部品を使用されなかったことに起因する場合。
- (6) 日本国外で使用される場合。
- (7) 保証請求手続きが不備の場合。（例：型式および機体番号の連絡がない場合 etc.）
- (8) 設置に原因がある故障および損傷。
- (9) 弊社販売会社および弊社以外で行われた修理。
- (10) 酷使・過失または事故によって生じたと認められる故障。

なお、本製品およびその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然消耗する部品、ならびに消耗品については保証の適用は除外させていただきます。

本製品は、塗装に関する保証はいたしておりません。
錆が発生した場合には修正塗装を実施してください。

保証請求方法

上記規定に基づき本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げいただいた販売会社までご連絡ください。販売会社において必要な手続きを実施いたします。

なお、保証の可否は勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご了承ください。

18 アフターサービスについて

調子が悪い時	まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも調子が悪い時	無償修理規定に従い修理いたしますので、お買い上げいただいた販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間内の修理について	保証期間は納入後1年以内です。 無償修理規定の記載内容に基づいて修理いたします。
保証期間後の修理について	お買い上げいただいた販売会社へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
補修用性能部品の保有期間	本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後20年間です。 (性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)

アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げいただいた販売会社へお問い合わせください。お問い合わせいただく際には、次のことをお知らせください。

型式・機体番号・購入年月日・故障状況（できるだけ詳しく）

上記事項を下表に記録しておく、お問い合わせの際に便利です。

型 式		
機 体 番 号	No.	
購 入 年 月 日	年	月 日
購 入 店 名	社名：	担当者：
	住所：	電話：
設 置 業 者	社名：	担当者：
	住所：	電話：
故 障 日 ・ 状 況	年 月 日 状況：	

保証書


出張修理

Bishamon[®]

品名	様
型式	
機番	
お客様	
ご住所 〒	
電話	
保証期間	1年（お買い上げの日から）
お買い上げ日	年 月 日

1. 無償修理規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
2. 保証を受けられる際には保証書をご提示ください。なお、保証期間中でも有料になることがありますので無償修理規定をよくお読みください。
3. 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がなければ弊社で引き取らせていただきます。
4. 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。

販売店名
住所 〒
電話

 愛知県高浜市本郷町4-3-21
☎(0566)53-1126

●この保証書は本書に提示した期間、条件のもとにおいて無償修理を行うことをお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス窓口にお問い合わせください。



販売会社、または施工業者の方への**お願い**
この取扱説明書は、必ずお客様にお渡ししてください。



<http://bishamon.co.jp> E-mail:sales@bishamon.co.jp

〒444-1394 本社 愛知県高浜市本郷町4丁目3番地21 tel.0566-53-1126 fax.0566-53-1844
〒146-0083 東京 東京都大田区千鳥2丁目2番12号 tel.03-3759-9722 fax.03-3759-9723
〒537-0002 大阪 大阪府大阪市東成区深江南2丁目3番22号 tel.06-6747-7617 fax.06-6747-7618

その他営業拠点 仙台・前橋・広島・福岡

OM-BWL20(P) 2401©9701-S